

# 整備機器

## 新商品

### 小野谷機工(株)

#### 乗用車用タイヤチェンジャー 「エクシード X/MX」



「アルマックス エクシード24MX」

タイヤ整備機器の唯一の国産メーカー、小野谷機工(株) (福井県越前市、三村健二社長) は1971年、現在社主である三村義雄氏が創業した。その前身となる小野谷屋の設立はさらに10年前の1961年のことである。

を迎えたのだ。

また2017年は隔年開催されるオートサービスショーの開催年でもあった。6月、東京ビッグサイトで「第35回オートサービスショー2017」が開催されている。このようなことを背景に、同社では今年、タイヤ整備機器の新製品を市場に意欲的に投入している。

この最上級モデルを上市したことで、同社はタイヤチェンジャーの製品ラインアップを大きく変更した。アルマックス エクシード XXの二つ前のモデル「アルマックス エクシード X」シリーズを上級モデルとして展開することで、市場での一層の拡販を図っていく考えた。「アルマックス エクシード X」はターナーにより、24インチ・レバーレス対応「エクシード 24X」と26インチ・レバーレス対応「エクシード 26X」と26インチ・レバーレス対応「エクシード 24S/26S」もラインアップに加えた。

その小野谷機工を核とするONODANIグループとしては、歴史をさらに遡ることが

さらに、ハイエンドモデルのスペックをそのままキープしながら、作業スペースの効率化を高めたコンパクトタイプの「M(ミニ)シリーズ」も上市。22インチ・レバーレス対応「エクシード 22M X」と24インチ・レバーレス対応「エクシード 24MX」がそれ。この「M」シリーズにもレバーレスへの対応機能を省いた「エクシード 22MS/24MS」をラインアップしている。

その代表が、先にレポートした26インチ対応レバーレスPCチェンジャー「ALMAX X」シリーズを上級モデルと

「上プレス」と「下プレス」が単独で昇降する機能もそのまま。だが、「上プレス」を下降させると「下プレス」も連動し下降する「BP・BU連動機能」は搭載されていない。それでもMDツールやMDSヘルパー装置によりレバーレス作業を容易に行うことができる。など、ハイエンドモデルにふさわしいスペックを満載。高機能を維持しながらコストパフォーマンスを高めている。



「アルマックス エクシード26X」

「上プレス」と「下プレス」が単独で昇降する機能もそのまま。だが、「上プレス」を下降させると「下プレス」も連動し下降する「BP・BU連動機能」は搭載されていない。それでもMDツールやMDSヘルパー装置によりレバーレス作業を容易に行うことができる。など、ハイエンドモデルにふさわしいスペックを満載。高機能を維持しながらコストパフォーマンスを高めている。

(横野 正義)

チェンジャー上級モデルを相次いで上市